

「サンゴの村宣言」SDGsプロジェクト

Green Fins（グリーンフィンズ）とは、サンゴや自然環境にやさしいダイビングやシュノーケリングの国際的なルール・ガイドラインです。Green Fins のポスターを参考に、今回はこちらの2つのポスターから考えてみましょう。

みなさんのご家庭で使われている電池は使い捨ての電池ですか？

使い捨ての電池は海洋環境にとって有害とされています。その理由は…

- ①正しく廃棄されない（埋め立てや海に捨てられているなど）
- ②電池が分解される際に、鉛や水銀等の化学物質が土や海に流れ込む
- ③これらは最終的にすべて海に流れ、海を汚染し、海洋生物に害を与える

最終的には汚染された魚や水を私たち人間が食べたり飲んだりすることになります。

このように化学物質は環境だけではなく、回り回って人や動物の健康にも影響します。

電池は有害ゴミとして正しく廃棄（充電式やボタン型電池はリサイクル協力店へ）し、できるだけ使い捨て電池ではなく再充電が可能な電池を使いましょう。



海の生き物を使ったおみやげを見かけたことはありますか？

貝やサンゴなど、おみやげとなる海の生き物の多くは海の中ではほかの多くの種類の生き物の生息地として利用されたり、自然に分解されることによって養分を生み出すなどサンゴ礁の生態系を維持する上で重要な役割を果たしています。

海の生き物を使ったおみやげを買わなければ海洋生物がむやみに殺されたり収集されたりすることもなくなります。

沖縄県においても造礁サンゴ類の採捕等が禁止されています。海の中で生きているもの、折れて海に落ちているもので原形をとどめているもの、サンゴの死がい、サンゴの卵が付着した基盤などは採ってはいけません。

ビーチで見つけた貝殻やサンゴは持ち帰らないようにしましょう。

沖縄県造礁サンゴ類の採捕等の禁止についてはこちらから→→→

